

割れないオールセラミックって本当?!

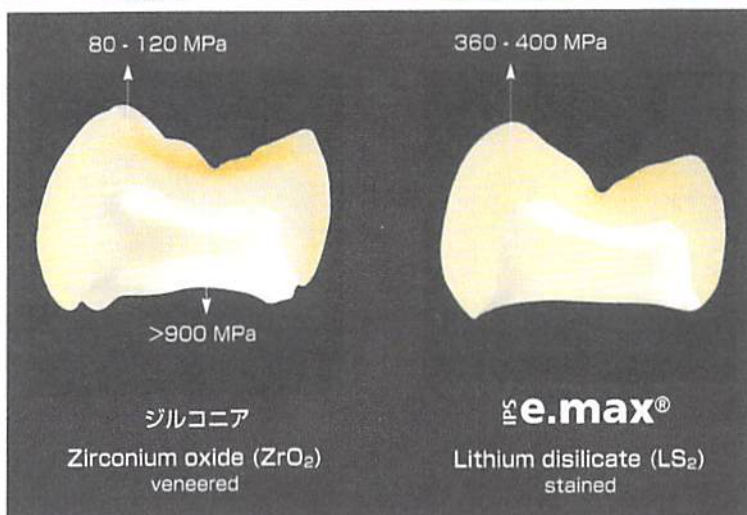
「IPS e.maxはジルコニアよりも強い?」というニューヨーク大学からの驚きの発表がありました。

それは2009年8月初め、ラスベガスで開催された米国審美学会(IFED)においてのセンセーショナルな研究発表でした。一般的に強いと言われている酸化ジルコニウムをコアとしてその上にセラミックを築盛した白歯クラウンと、ニケイ酸リチウムのIPS e.max 単体で作った白歯クラウンを口腔内での咬合を想定して破壊強度試験をしたところ、IPS e.max 単体のほうが格段に強かったというものです。

酸化ジルコニウムに盛ったセラミックスは350ニュートンの加重で90%が壊れたのに対し、IPS e.max は1,000ニュートンで100万回の圧力でも破折しませんでした。この結果から、ニューヨーク大学の試験を担当された先生は「ニケイ酸リチウムを主成分とするIPS e.max は過去に試験したセラミック修復物の中で最も強い」と言われたそうです。

(Ivoclar Vivadent 社資料より)

IPS e.max Press クラウンとジルコニアクラウンとの比較



IPS e.max® に対する確信

IPS e.max の登場により、先生方がオールセラミックスを白歯部に使用するうえで心配されていた破折の問題も解消され、患者様の「ノンメタル治療」へのニーズが高まる中、経済的・審美的・生体親和性に優れているオールセラミックスを積極的に臨床に取り入れることが医院経営の安定化に必ずお役に立てると当社では確信しております。

ジルコニア	IPS e.max®
80~120 MPa (歯の表面の部分)	360~400 MPa ※歯の表面の部分から 内部まで同一の強度
900~1,200 MPa (内部のフレーム部分)	

当社の e.max への取組

2007年3月、IPS e.max 販売計画に着手!!

当社ではいち早く「IPS e.max Press」の製品化情報を入手し、2007年3月にはヨーロッパ リヒテンシュタイン公国にあります Ivoclar Vivadent 本社にて「IPS e.max Press 製品セミナー」を受講してまいりました。当時はまだ日本では薬事認可がおりていないためせっかく学んだ製品技術をすぐに活用出来ませんでした。その高いポテンシャルから日本での薬事認可がおりることを心待ちにしておりました。

その後2008年1月29日に日本での薬事認可がおり、材料が手に入るようになりましたので、すぐに製品化に着手し、現在では全国の先生方に高くご評価を頂けるようになりました。

今回、キャンペーンを通してさらにより多くの先生方に当社が積み上げてきた技術をお届けすることで、先生方のお役に立ち、医院の繁栄に貢献できれば幸いです。

